

# 長野県立大学大学院

## GUIDE BOOK

### ソーシャル・イノベーション研究科



#### 三輪キャンパス 長野市三輪8-49-7

- JR長野駅善光寺口乗り換え長野電鉄(乗車6分)「本郷」駅下車(徒歩10分)
- JR長野駅善光寺口6番バスのりは長電バス(乗車15~20分)「城山団地」下車(徒歩5分)







理事長  
メッセージ

長野県立大学 理事長  
安藤 国威



## 社会を変革するイノベーターを長野から生み出します

かつて「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と呼ばれ、ものづくりの強さで世界を席巻した日本は、今やアジアにおいてすら先進国としての地位を失いつつあります。

世界が今熾烈な人材獲得競争にある中、日本が再び世界で輝きを取り戻すためには、イノベーションによって日本を変革し、未来を創り出す人材育成にこそ投資をするべき時なのです。

現在の日本に必要とされているのは社会課題を解決するために、アントレプレナー意識を持ち、強力な実行力で変革をリードするソーシャルイノベーターです。

そのような要請に応えるために設立された本研究科は従来

の専門職大学院とは異なる思想と手法によって新規事業の立ち上げや、組織の変革に熱い情熱を持つ人材を養成する環境を整えています。

課題先進国である日本が世界に先駆けて多様な課題を解決することが、新しい形での世界に貢献する日本の役割だと信じています。

すでに、本大学院ソーシャル・イノベーション研究科の第1期生・2期生が長野を舞台にソーシャルイノベーターとしての実践をスタートしています。長野から日本、そして世界を変えていく仲間たちの参画を歓迎します。



学 長  
メッセージ

長野県立大学 学長  
金田一 真澄



## 長野の未来を創造するソーシャル・イノベーション研究科

長野県立大学は2022年4月に待望の大学院を開設し、時代を先取りする研究科「ソーシャル・イノベーション研究科」が誕生いたしました。定員は10名ですが、大きな可能性を秘めた魅力的な研究科です。実践的な学びを中心とする専門職大学院であり、リカレントを目指す社会人が主な対象となります。授業はオンライン中心です。目的は社会で活躍できるイノベーターの養成です。この場合のイノベーターとは、実践力、コミュニケーション力、アントレプレナーシップの資質を備えた発想力豊かな人を指します。

こうして本研究科を修学・修了した院生たちが、長野県の

企業・行政・大学をつなぐ密な情報ネットワークを構築し、これからの日本社会の活性化や発展に寄与してくれることが期待されます。

日本では学び直しの重要性があまり認識されず、世界から遅れをとっています。これからは企業も、メンバーシップ型ではなく、ジョブ型の仕事主流になると言われ、スキルを身につけるリカレント教育が必須の時代となります。

その役割を担う「ソーシャル・イノベーション研究科」に、どうぞご期待ください。

## ソーシャル・イノベーション研究科

### 概要

項目	ソーシャル・イノベーション研究科(専門職大学院)
専攻	ソーシャル・イノベーション専攻
課程	専門職学位課程(MBAプログラム)
学位の種類	経営学修士(専門職)
標準修了年限	2年
入学定員	10名

### 特色

#### 長野県に必要なリーダーを育成するための履修モデルを設定

##### ■「企(起)業家」モデル

起業や企業内起業を志す学生向けに、知識創造、ビジネスモデルの作成、事業化という一連のプロセスを体験できるカリキュラム構成です。

##### ■「公民連携推進人材」モデル

公民連携を志す学生向けに、ベースとなるビジネスの一連のプロセスを学習し、地域のアクターと一緒に政策を立案し、執行していくプロセスを体験できるカリキュラム構成です。

#### 多様な人々に専門的な学びを提供

##### ■平日夜間及び土曜日開講

社会人が受講しやすいよう、平日夜間及び土曜日に授業を開講します。

##### ■ICTを使ったりリモート教育

平日夜間は原則としてオンライン授業です。



研究科長  
メッセージ

ソーシャル・イノベーション研究科長 大室 悦賀 教授



近年、世界を取り巻く環境は、気候変動等の多様な社会問題の創出や技術革新によって、劇的に変化している。つまり地域社会や企業は、これまでの経験の延長線上での対応を遙かに超え、「企業とは何か」、「自治体とは何か」を根本から捉え直す新たな知識や思考方法の獲得が必要となっている。本学はそのような状況に応えるべく、持続可能な社会の構築に貢献するソーシャルイノベーターの育成を目的とした専門職大学院を設置した。本研究科は経営系科目に加え、3つの特色ある科目群を中心に構成されている。第1には、ソーシャル・イノベーションに求められる知

識の獲得と知識創造にかかわる科目群、第2には、新たに創造した知識のビジネス化とその実践にかかわる科目群、第3にはソーシャル・イノベーションにとって必要なネットワークの構築にかかわる科目群、である。特にこれまでの専門職大学院にほとんどなかった哲学思考、アート思考、システム思考、身体性思考、人類学的思考、セルフマネジメントなどの思考科目を充実させている。これらの特色あるカリキュラムを通じ、ソーシャルイノベーターを育成する。入学される学生の皆さんと共に、長野、日本、世界に貢献できる大学院にしていきたい。

## 3つの方針（ポリシー）

### 大学院で養成する人材像

- 1) 企業やその他の組織のマネジメントの基盤となる専門知識を持っている。
- 2) 企業・行政・NPOによる共創を通じ、ビジネスおよび地域の持続可能な発展に必要な社会問題の多面的な把握ができる。
- 3) 存在していないものをつくり出す創造力を有している。
- 4) 新規事業の創発・公民連携に必要なとされる高度な専門知識を身につけている。
- 5) 創発したアイデアをビジネスや新規プロジェクトとして自ら実践することができるコミュニケーション力とアントレプレナーシップを備えている。

ソーシャルイノベーター

### 1. 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

- DP1 企業やその他の組織のマネジメントの基盤となる専門知識
- DP2 多様なアクターによる共創を実現するための基礎となる専門知識
- DP3 持続可能な社会の構築の視点から、具体的な社会、地域および企業の経営上の問題を捉え、創造的な視点で新規事業を創発（知識創造）することができる力
- DP4 経営学・会計学・経済学および人文科学の領域における、深き学識と高度で卓越した専門的能力
- DP5 知識創造した新規事業を自ら実践することができる力

### 2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

- CP1 既存のビジネスを理解するための基盤となる経営科目を配置する。
- CP2 ソーシャル・イノベーションの基礎となる知識およびビジネスにおいて必須の「情報」に関する知識を身につける科目を配置する。
- CP3 解決方法がまだ十分に展開されていない未知の領域にアプローチするマインドと創造力を身につけるため、リスクや恐怖を克服するための自己のマネジメントとイノベーションのアイデアを創造することを学ぶ科目を配置する。
- CP4 経営学・会計学・経済学および人文科学の領域における専門的な能力を身につけるための科目を配置する。
- CP5 新たな解決方法をモデリングする能力と実践する能力を身につけるため、ビジネスモデルを構築し、それを実践する科目を配置する。

### 3. 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

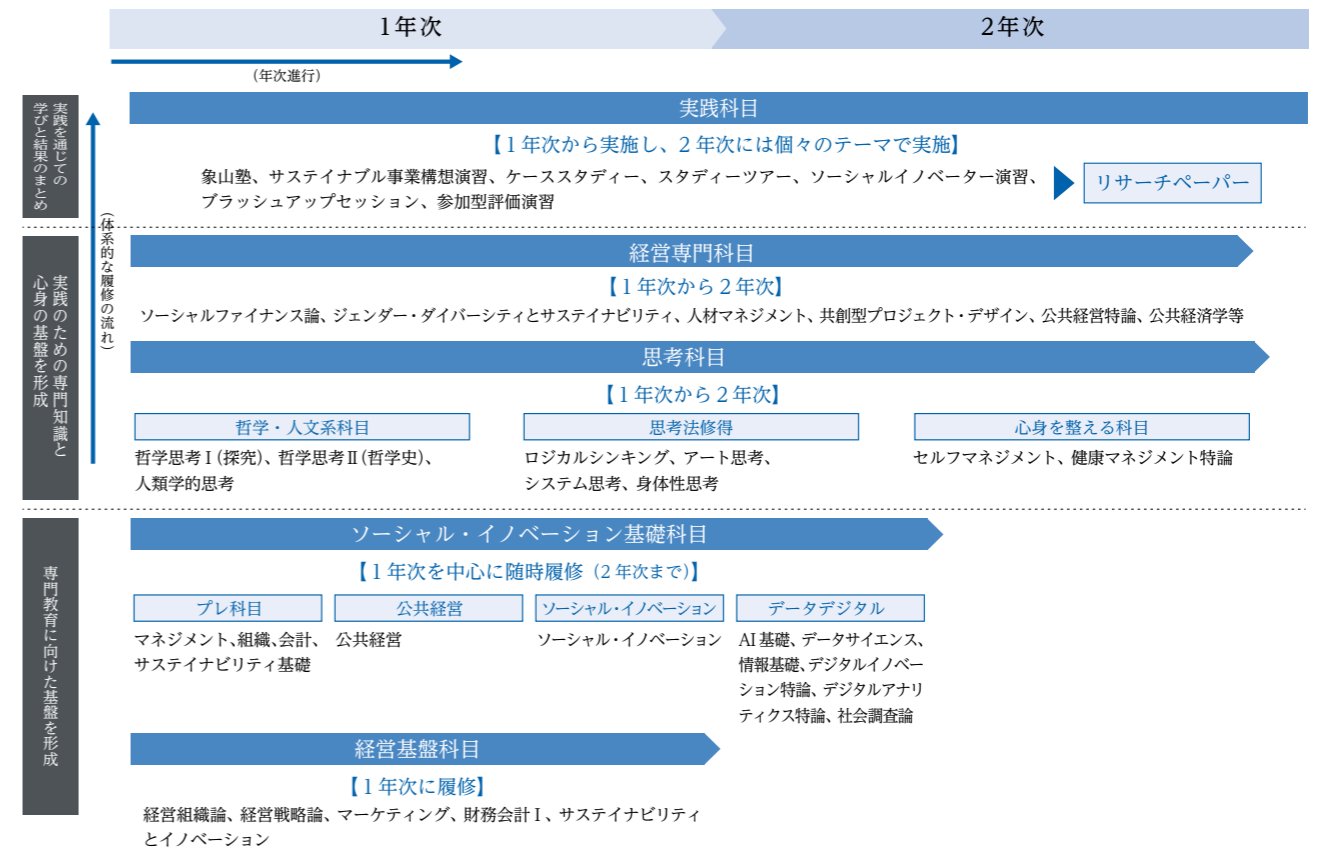
- AP1 経営に関わる知識・スキルを修得する努力を惜しまないこと。
- AP2 組織や事業のマネジメントまたは経営に関する専門知識を身につけるための基礎的能力があること。
- AP3 質の高いディスカッションを行うための広範な社会および地域・経済動向に対する洞察力を備えていること。
- AP4 新規事業の創出に関して、熱烈な情熱をもっていること。

## 修了後の進路

経営者・企(起)業家	アイデアの創発を実践し、ビジネス化することを習得することによって、新規事業の創発を実践します。自身の経営する企業のために、ソーシャル・イノベーションのための組織環境づくりの手法を理論的に学び、組織の改革や既存事業における新たな価値創造を行うことができる人材を目指します。
民間企業やNPOに所属する方	組織内でソーシャル・イノベーションを創発する手法や実践方法を学び、実際に組織内で新規事業を立ち上げるソーシャルイノベーターとなることを目指します。
公務員	企業やNPOとのコラボレーションに必要な組織の理解や組織運営について学び、所属組織を現代社会に適合した地域経営ができる組織に変化させる担い手になることを目指します。

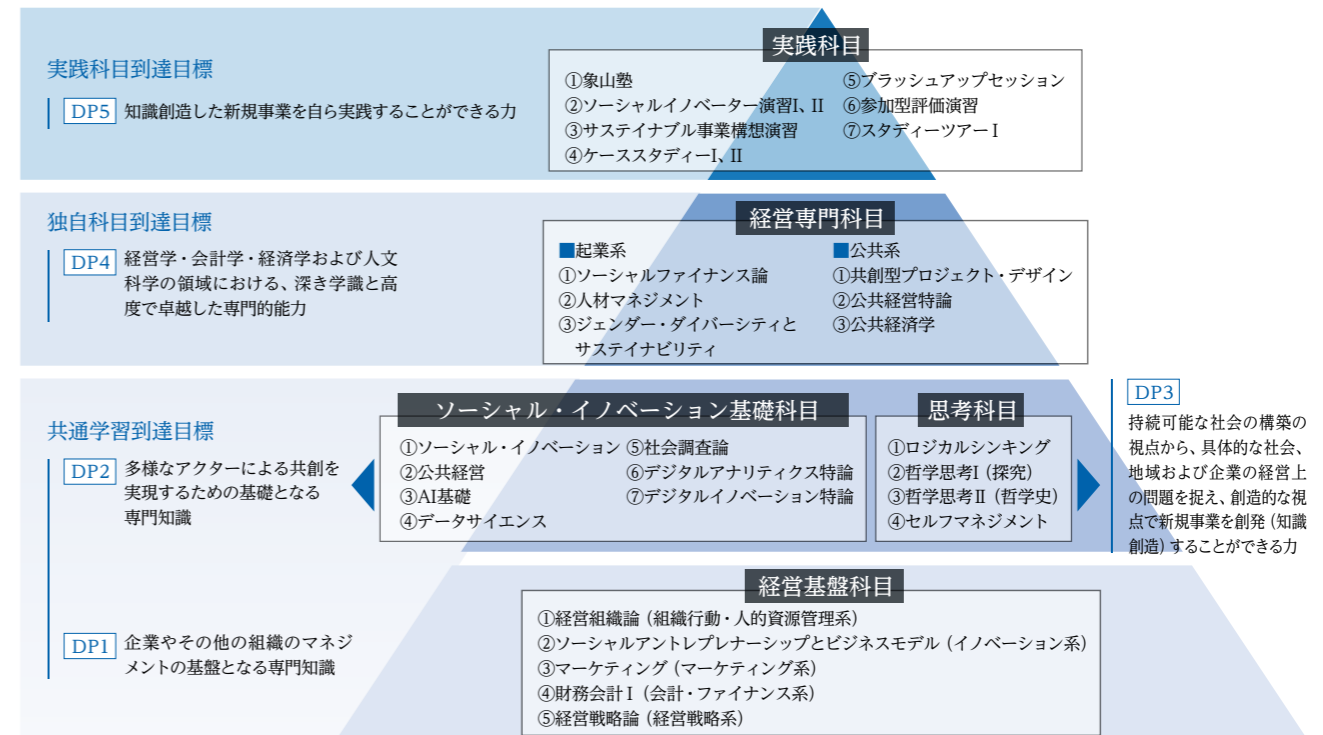
## 科目構成

### カリキュラムマップ CURRICULUM MAP



## カリキュラム

※必修科目、企(起)業家モデル履修者への推薦科目、公民連携推進人材モデル履修者への推薦科目を記載。





## 狙いと特徴

### ソーシャル・イノベーションの基礎

ソーシャル・イノベーションの基礎は、1年次1学期に全員必修で受講する授業となります。これまでの延長線上ではない考え方、その背景にある学問的な背景も含めてお伝えをするだけでなく、これから共にソーシャルイノベーターとして歩む仲間と議論を深めていくことも重要としています。また、多様なアクターによる共創を実現するための基礎となる専門知識として、デジタル社会に求められるAI、データサイエンス等の基礎も学ぶことができます。ソーシャル・イノベーションに求められる知識の獲得と知識創造をしていくための土台として本科目を受講し、その後、思考科目や実践科目を受講します。



### 思考科目

思考科目は、文字通り「考えること」に焦点を当てた科目群です。ただし、それは一人きりで考える孤独な思考や、机上につき紙面上で組み立てる思考を、必ずしも意味しません。本研究科の思考科目では、①多様な人々が対等な関係を築き、共に対話し探求を深めるコラボラティブな思考、②身体性を重視し、自己の全体を整えていくホリスティックな思考、③徹底した問いと吟味を繰り返すことでよりよき解を追求するフィロソフィカルな思考、などの様々な思考を、実際に授業の中で経験し、習得していきます。この科目群を通じて、柔軟で開放的で創造的な主体へと自己を変容させ、イノベーションに不可欠なありかたの基礎を養うことができます。



### 実践科目

実践科目は、ソーシャルイノベーターを目指すための実践的演習の科目群です。学生は、思考科目によって価値観を揺さぶり無意識に持つ思考の癖から自分を解放し、経営基礎科目、ソーシャル・イノベーション基礎科目、経営専門科目での多くのインプットを糧に、実践科目に取り組みます。自らが挑戦したい課題について、社会を変化させ望ましい未来を実現するための実践的な演習を、2年間様々な必修と選択の科目を通じて継続します。社会人ならではの多様なバックグラウンドを持つ院生同士の学び合い、フィードバックし合う機会の連続も相まって、社会で実践する事業計画を、最終的にリサーチペーパーとしてまとめます。複数の学外ゲストからの多様な視点からの助言も得て、自身の構想の実現可能性を高めていきます。



## 科目一覧

科目区分	経営基礎科目	ソーシャル・イノベーション基礎科目	思考科目	経営専門科目	実践科目
必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経営組織論</li> <li>■ ソーシャルアントレプレナーシップとビジネスモデル</li> <li>■ マーケティング</li> <li>■ 財務会計I</li> <li>■ 経営戦略論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ソーシャル・イノベーション</li> <li>■ 公共経営</li> <li>■ AI基礎</li> <li>■ データサイエンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ロジカルシンキング</li> <li>■ 哲学思考I (探究)</li> <li>■ 哲学思考II (哲学史)</li> <li>■ セルフマネジメント</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 象山塾</li> <li>■ サステイナブル事業構想演習</li> <li>■ ソーシャルイノベーター演習I</li> <li>■ ソーシャルイノベーター演習II</li> <li>■ ケーススタディーI</li> <li>■ ケーススタディーII</li> <li>■ ブラッシュアップセッション</li> </ul>
選択		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報基礎</li> <li>■ 社会調査論</li> <li>■ デジタルアナリティクス特論</li> <li>■ デジタルイノベーション特論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アート思考</li> <li>■ システム思考</li> <li>■ 身体性思考</li> <li>■ 人類学的思考</li> <li>■ 健康マネジメント特論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ソーシャルファイナンス論</li> <li>■ 人材マネジメント</li> <li>■ ジェンダー・ダイバーシティとサステイナビリティ</li> <li>■ 共創型プロジェクト・デザイン</li> <li>■ 公共経営特論</li> <li>■ 公共経済学</li> <li>■ 企業論</li> <li>■ 国際経営特論</li> <li>■ ファミリーアントレプレナーシップ</li> <li>■ 財務会計II</li> <li>■ 企業と法</li> <li>■ 経済学特論：産業と市場における企業行動</li> <li>■ ファイナンス</li> <li>■ 経営史</li> <li>■ ベンチャー企業特論</li> <li>■ 企業法務・税法</li> <li>■ サステイナビリティとイノベーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スタディーツアーI (国内)</li> <li>■ スタディーツアーII (国内/国外)</li> <li>■ 参加型評価演習</li> <li>■ コミュニティ・デザイン実践研究</li> </ul>

## 集中講義の例

身体性思考	共創型プロジェクト・デザイン	スタディーツアーI (国内)
<p>8月&amp;3月・集中講義 土～日曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1日目(土) 2コマ連続</li> <li>■ 2日目(日) 2コマ連続</li> <li>■ 3日目(土) 3コマ連続 (春休み)</li> </ul>	<p>3月・集中講義 土～日曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1日目(土) 3コマ連続</li> <li>■ 2日目(日) 4コマ連続</li> </ul>	<p>9月・集中講義 日～火曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1日目 現地集合、市街地まちあるき</li> <li>■ 2日目 市役所各部署など訪問、ヒアリング</li> <li>■ 3日目 振興局等訪問、拠点視察、周辺地区訪問 (現地解散)</li> </ul>

## 入学から修了までの指導スケジュール

1年次1学期からの象山塾で、同期院生全員でのチームビルディングを行います。これにより学び合う関係を構築します。2学期には出願時の計画を構想として新たな観点で見直し、3・4学期の多様な観点からの計画案検討を経て、計画の解像度を上げ、1年次4学期に担当教員を決定します。

2年次では、ゼミ形式を中心に、自身の事業計画の理論補強と実践の小さな試行などで実現可能性を高め、リサーチペーパーとして完成、発表会を経て修了まで指導します。修了後にソーシャルイノベーターとして、各々が本格実践へ離陸できるよう支援します。

日程	出願時	1年次					2年次					
		1学期 4月	2学期 5月	夏休み 6月	3学期 7月	4学期 8月	1学期 9月	2学期 10月	夏休み 11月	3学期 12月	4学期 1月	春休み 2月
○事業計画書の提出	授業	象山塾			ソーシャルイノベーター演習Ⅰ	ブラッシュアップセッション	ソーシャルイノベーター演習Ⅱ	ブラッシュアップセッション	ソーシャルイノベーター演習Ⅱ			
		サステイナブル事業構想演習	スタディーツアーⅠ(国内)			スタディーツアーⅡ(国内)						
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>チームビルディング(1年次全体)</p> <p>多様な観点からの計画案検討</p> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>研究指導</p> <p>○研究テーマの発表・研究計画への指導</p> <p>○学位授与</p> <p>○リサーチペーパー発表会・修了判定</p> <p>○リサーチペーパーの提出</p> <p>○リサーチペーパータイトルの確認</p> <p>○リサーチペーパータイトル届出</p> <p>計画のブラッシュアップ</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>計画のブラッシュアップ</p> <p>○ソーシャルイノベーター演習Ⅱ担当教員を決定</p> </div> </div>										

## モデル時間割例

### 1年次1学期(2023年度の場合)

	月	火	水	木	金	土(隔週対面)
1時限						
2時限						公共経営
3時限						ロジカルシンキング
4時限						
5時限						象山塾
6時限	哲学思考Ⅱ(哲学史)	公共経済学	マーケティング			
7時限	ソーシャル・イノベーション	経済学特論: 産業と市場における企業行動		財務会計Ⅰ		

※1コマは100分です。  
 ※平日夜間の講義はオンラインです。  
 ※6時限開始時刻は、18:50です(2023年度)。  
 ※金曜日は科目の開講がありません。  
 ※土曜日1時限目(8:50開始)は、原則として科目の開講がありません。  
 ※土曜日講義は、各学期初回対面開催、2週目オンラインの隔週対面開催。

### 1年次2学期(2023年度の場合)

	月	火	水	木	金	土(隔週対面)
1時限						
2時限						ケーススタディーⅠ
3時限						哲学思考Ⅰ(探究)
4時限						サステイナブル事業構想演習
5時限						象山塾
6時限		サステイナビリティとイノベーション	経営組織論	健康マネジメント特論		
7時限						

## 教員一覧

<p>教授(研究科長)</p> <p><b>大室 悦賢</b> オオムロ ユウケン</p> <p>【担当授業科目】 ソーシャル・イノベーション ソーシャルイノベーター演習Ⅱ ブラッシュアップセッション</p> <p>【専門分野】 ソーシャル・イノベーション</p>	<p>教授</p> <p><b>秋葉 芳江</b> アキハ ヨシエ</p> <p>【担当授業科目】 ソーシャルイノベーター演習Ⅰ ソーシャルイノベーター演習Ⅱ サステイナブル事業構想演習 ブラッシュアップセッション</p> <p>【専門分野】 持続可能な社会形成に関する実践的研究、社会的企業、起業、ソーシャル・イノベーション、行政・市民協働</p>	<p>教授</p> <p><b>穴山 悌三</b> アナヤマ テイソウ</p> <p>【担当授業科目】 経済学特論: 産業と市場における企業行動</p> <p>【専門分野】 経済学(応用ミクロ経済)</p>
<p>教授</p> <p><b>築山 秀夫</b> ツキヤマ ヒデオ</p> <p>【担当授業科目】 社会調査論</p> <p>【専門分野】 地域社会学</p>	<p>教授</p> <p><b>永田 邦和</b> ナガタ クニカズ</p> <p>【担当授業科目】 ファイナンス</p> <p>【専門分野】 金融・ファイナンス、金融論、銀行論、保険論</p>	<p>教授</p> <p><b>馬場 智一</b> ババトモカズ</p> <p>【担当授業科目】 ロジカルシンキング 哲学思考Ⅰ(探究) 哲学思考Ⅱ(哲学史) 象山塾</p> <p>【専門分野】 哲学、倫理学、思想史、哲学プラクティス</p>
<p>教授</p> <p><b>真野 毅</b> マノ ツヨシ</p> <p>【担当授業科目】 公共経営/象山塾/ソーシャルイノベーター演習Ⅰ/ソーシャルイノベーター演習Ⅱ/スタディーツアーⅠ/スタディーツアーⅡ(国内)/スタディーツアーⅡ(国外)/ケーススタディーⅠ/ブラッシュアップセッション/公共経営特論</p> <p>【専門分野】 公共経営、協働による公共セクターのイノベーション</p>	<p>教授</p> <p><b>宮崎 紀枝</b> ミヤザキ ノリエ</p> <p>【担当授業科目】 健康マネジメント特論</p> <p>【専門分野】 公衆衛生看護</p>	<p>教授</p> <p><b>宮下 清</b> ミヤシタ キヨシ</p> <p>【担当授業科目】 人材マネジメント</p> <p>【専門分野】 経営学(国際地域経営、組織人材マネジメント)</p>
<p>教授</p> <p><b>尹 大栄</b> イン ダイエイ</p> <p>【担当授業科目】 ファミリーアントレプレナーシップ ソーシャルイノベーター演習Ⅱ</p> <p>【専門分野】 国際比較経営論、産業クラスター論</p>	<p>准教授</p> <p><b>東 俊之</b> アサト シュンキ</p> <p>【担当授業科目】 経営組織論</p> <p>【専門分野】 経営学、経営組織論、組織間関係論</p>	<p>准教授</p> <p><b>織田 竜也</b> オリダ リュウヤ</p> <p>【担当授業科目】 人類学的思考</p> <p>【専門分野】 文化人類学、民俗学</p>
<p>准教授</p> <p><b>萱津 理佳</b> カヤヅ リカ</p> <p>【担当授業科目】 情報基礎</p> <p>【専門分野】 教育工学、情報学フロンティア</p>	<p>准教授</p> <p><b>衣川 修平</b> キヌガワ シュウヘイ</p> <p>【担当授業科目】 財務会計Ⅱ</p> <p>【専門分野】 財務会計・会計理論</p>	<p>准教授</p> <p><b>金 賢仙</b> キム ヒロシオン</p> <p>【担当授業科目】 企業と法【隔年】</p> <p>【専門分野】 金融商品取引法、会社法、企業会計</p>
<p>准教授</p> <p><b>首藤 聡一郎</b> シュトウ ソウイチロウ</p> <p>【担当授業科目】 経営戦略論</p> <p>【専門分野】 経営戦略論、中小企業論、経営情報論</p>	<p>准教授</p> <p><b>中川 亮平</b> ナカガワ リョウヘイ</p> <p>【担当授業科目】 企業論</p> <p>【専門分野】 日本経済論、企業論</p>	<p>准教授</p> <p><b>中村 陽人</b> ナカムラ アキト</p> <p>【担当授業科目】 マーケティング</p> <p>【専門分野】 消費者行動論、マーケティング論</p>
<p>講師</p> <p><b>神戸 和佳子</b> ゴウド ワカコ</p> <p>【担当授業科目】 ロジカルシンキング 哲学思考Ⅰ(探究) 象山塾</p> <p>【専門分野】 教育学、思想史、哲学プラクティス</p>	<p>講師</p> <p><b>渡邊 さやか</b> ワタナベ サヤカ</p> <p>【担当授業科目】 象山塾/ソーシャルイノベーター演習Ⅰ/ソーシャルイノベーター演習Ⅱ/スタディーツアーⅠ/スタディーツアーⅡ(国内)/スタディーツアーⅡ(国外)/ケーススタディーⅡ/ブラッシュアップセッション/ジェンダー・ダイバーシティとサステイナビリティ/ソーシャルアントレプレナーシップとビジネスモデル</p> <p>【専門分野】 社会科学(アジア・ジェンダー)、経営に関する実務</p>	<p>助教</p> <p><b>鶴田 靖人</b> ツルタ ヤスヒト</p> <p>【担当授業科目】 データサイエンス</p> <p>【専門分野】 統計学</p>
<p>客員教員</p> <p><b>稲増 聡一郎</b> イナガキ ソウイチロウ</p> <p>【担当授業科目】 セルフマネジメント</p>	<p>客員教員</p> <p><b>鴨崎 貴泰</b> カモザキ ヨシヒロ</p> <p>【担当授業科目】 ソーシャルファイナンス論</p>	<p>客員教員</p> <p><b>福谷 彰鴻</b> フクタニ アキヒロ</p> <p>【担当授業科目】 システム思考</p>
<p>客員教員</p> <p><b>藤本 靖</b> フジモト ヤスシ</p> <p>【担当授業科目】 身体性思考</p>	<p>客員教員</p> <p><b>若宮 和男</b> ワカミヤ カズオ</p> <p>【担当授業科目】 アート思考</p>	

※2023年度時点



専任教員からのメッセージ

MESSAGE

真野 毅 教授



ガバメントからガバナンスへ。企業や行政、NPOなど所属セクターを問わず、社会のあらゆる場面で協働が求められ、協働の成果が問われる時代になってきた。異なる組織が衝突し、交わり、つながる場所に、地域の課題を解決できる無限の可能性、ソーシャル・イノベーションの機会が生まれる。多様なセクターから人材が集まり、セクターの境界を越えて、それぞれの持つ強みやノウハウを活かし、社会課題の解決ができるリーダーに育ち、そしてつながっていく場を実現したい。

異なるセクターから来た学生との対話を求め、社会課題解決のために組織の壁を越えて一歩を踏み出そうとしている若者達よ、大学院の門を叩いてほしい！

(2024年3月退官予定)

MESSAGE

秋葉 芳江 教授



「喜ばれる事業を創出したい」が、もやもやして悩み深く解が見えない。「地域の良さを知る自分だから新事業を立ち上げたい」が、どうすればよいのか。

本研究科は、自ら課題感を持ち実践を志向する者を歓迎する。「問い」の立て方から問い直し、内なる常識を打ち破り、自分と社会の結節点を見出し、具体的に新事業創出する方法論を実践し、多様な人々を巻き込み自ら社会にインパクトを与える者になる研鑽を積む。理論と実践を反復し、仲間たちと切磋琢磨する無二の時を経て、実践プランと実行力を磨く。

持続可能な社会を拓く-意欲あふれる方々と未来をともに創り出していきたい。

MESSAGE

渡邊 さやか 講師



自分自身に向き合うことは、ソーシャル・イノベーションを生み出す起点となる。自分自身の内面に向き合い、自分の中に存在している意識的及び無意識的な思考や行動パターンを見つめることは、時に苦しいが、重要なプロセスだ。このプロセスを土台として、複雑で構造的な現実社会に真摯に向き合い、基礎的な知識と客観的な情報収集力や論理的な思考力を鍛え、共に切磋琢磨できる仲間を持つことは、ソーシャル・イノベーションに不可欠である。

本研究科は、異なる力を持つ仲間たちと出会い、共に学び、自分と社会に挑戦し、ソーシャル・イノベーションを生み出すリーダーたちをお待ちしています！

MESSAGE

神戸 和佳子 講師



解法が明らかな問題の解き方を教わって、それが解けるようになって、つまらないと思う。本研究科では、既存の枠組みの中で成長・成功する方法は扱わない。幸か不幸か、今この世界は(いや、もしかすると世界というのは元来)、どう解いたらよいのかもわからない問いに溢れている。日々問われ続けること、価値観や信念が揺らぎつつ変容していくこと、そして社会の枠組みそのものを組み替えていくこと。それは少し苦しくて、でも面白い。ここには、そんな変化と一緒に面白がって、創り出していく仲間がいる。戸惑いや悩みがある人、何かを変えたいと思っている人を、私たちは歓迎します。

主な科目担当教員からのメッセージ

アート思考



客員教員 若宮 和男

イノベーションのための思考法として現在注目されている「アート思考」について、基礎的な知識を得るとともに、座学ではなくワークショップを通じて学生が実践的にアート思考を体験します。「アート思考」とはアートについての知識や教養を身につけることではありません。アートや芸術家のラディカルな創造性に触発され、価値観の凝りをほぐし、常識を超えた自分ならではのユニーク・バリューを生み出すモードです。そのために授業は「受け身の学習」ではなく、不確実性を楽しみ自ら価値を生み出そうとする姿勢を磨くことを目指します。

また、旧来の価値観を脱し、多様な視点から世界と自分に出会い直すことで、拡大一辺倒の資本主義ではなく、持続可能な社会への世界との関わり方について考えます。

システム思考



客員教員 福谷 彰鴻

私たちが現実と直面する複雑な課題を解決するために必須の力として、OECDのEducation2030プロジェクトにも紹介されているシステム思考。現代の社会が直面する環境や社会の持続可能性の課題は、ものごとをただ要素還元するだけでは解決できないだけでなく、意図せぬ結果を生むことがしばしばです。こうした複雑な課題に効果的にアプローチするため、要素のつながりに着目して「木を見て森も見る」思考習慣はごくみず。氷山モデルや因果関係ループ図、時系列変化パターングラフなど、一見難解なシステム思考のツールや手法を、身近な事例を取り上げた実践演習と対話を通して、実生活に応用できる学びをサポートします。

身体性思考



客員教員 藤本 靖

「外の世界にある情報に出会い、それを感覚として受けとめて表現する」われわれが日常当たり前に行っているこのプロセスを「身体」をベースに考察することが「身体性思考」です。

先行きの見えない不確実な世界を生き抜くためには、持続可能性を持つ未来を構想する創造力、人や社会とつながる共感性が必要となります。

この授業では、創造力や共感性の源泉となる「身体性」について、理論(神経生理学)と実践(ボディワーク)を交えて講義します。

セルフマネジメント



客員教員 稲垣 聡一郎

この授業は、「望む結果を得るために、どのように自分をマネジメントすれば良いのか?」「パフォーマンスを発揮できる状態をどのように作り、リーダーシップを発揮するのか?」などのセルフマネジメントの要素を主に扱います。ソーシャル・イノベーションを実現し、それを持続可能な状態にするためには、「自分の外側にある人や環境を変える」アプローチだけでなく、「自分自身の内面や思考のクセ、感情・行動・結果の構造」を理解し、まず自分自身がサステナブルになる必要があります。この授業では、自分自身の内面や軸(思考レベルではなく、感情や身体感覚レベル)に向き合いながら、今までとは違う選択肢を生み出し、新たな行動・結果を生み出していくための土台を理解し、自分自身をマネジメントすることがどう組織や社会につながるかの構造を理解していきます。

ソーシャルファイナンス論



客員教員 鴨崎 貴泰

少子高齢化、経済格差、地方創生などの社会課題が深刻化するなか、NPO、企業、行政、市民など様々な主体が協働して課題解決を行っていく必要があります。しかし、こうした社会課題解決に必要な資金は不足しており、政府の財政の逼迫する日本では公的資金のみに依存することは不可能です。そこで、民間資金を活用した社会課題解決「ソーシャルファイナンス」に近年注目が集まっています。この授業では、ソーシャルファイナンスを「社会的インパクトを生むための金融」と捉えて、その概要と調達手法を学びます。

共創型プロジェクト・デザイン



非常勤講師 片田 保

これまで社会課題の多くは、行政セクターを中心に組み立てられてきた。昨今、予算や人員の制約があり全てを行政セクターだけで解決するのは難しい。民間セクター、市民セクターが互いに共創することによって課題解決に取り組む時代を迎えている。しかし、多様なセクターが共創するプロジェクトの運営は一筋縄にはいかない。行政セクター、市民セクターは採算度外視になりやすく、民間セクターは収益性の追求が優先されやすい。それぞれの利害関係が衝突する。参画するセクター間で将来のゴール、社会的なアウトカムを共有し、各セクターの特性を踏まえて課題解決に向けたそれぞれの役割を深く理解する必要がある。

多様なセクター出身の学生が集い、共創してプロジェクトを遂行する。皆さんが共創の結節点となって社会を繋いでいけるよう、出会いと学びの機会を提供したい。



## 学生インタビュー

リコージャパン株式会社  
赤堀 久美子 さん

自分が取り組みたい社会課題・所属等のキーワード

インクルージョン（格差解消）・サステナビリティ経営・大企業・子育て中・県外

### バックグラウンド

企業で10年強、サステナビリティの推進を担当していますが、サステナビリティ経営をより本質的なものに進化させたい、多様なセクターと協働して地域課題に取り組む事業を具体化したいと思い、大学院入学を決めました。本研究科は、経営の基礎を学べると同時に、実践のための授業、哲学やセルフマネジメントなど思考を深める授業があること、東京にはわからない地域課題を深く理解できることが魅力的だと思いました。

### 大学院での学び

本研究科の大きな価値の一つは、多様な経験と想いを持った同級生たちと学びあえることだと思います。それぞれが講師になれるレベルの知見があり、実際に同級生が講師になる授業もあるほどです。ほぼ全ての授業にある同級生たちとのディスカッションタイムは、何気ない質問ができたり、学びが深まったり、楽しい時間となっています。これから各自の事業計画をブラッシュアップする実践科目が本格化しますが、先生方や同級生たちのネットワークも活かしながら、長野で社会価値を生むプロジェクトを実現できればと思っています。



©沼井大志

塩尻市役所  
三枝 大祐 さん

自分が取り組みたい社会課題・所属等のキーワード

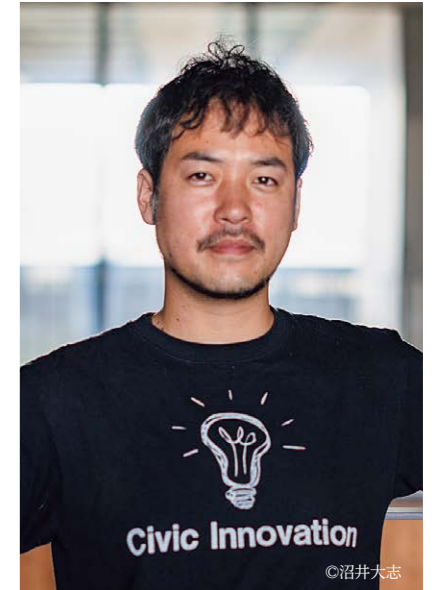
地域・行政・シビックイノベーション・起業家・移住

### バックグラウンド

行政の業務の中で、社会起業家を産み育てる仕組みづくりと伴走支援をメインで行なっております。その中で本大学院に入学し「ソーシャル・イノベーションや経営について学ぶ」ということが、自身が携わる業務における地域や社会に与えるインパクトをもっと大きくすることができると確信し、入学を決意しました。また、行政職員としての自身のキャリアの選択肢を増やすきっかけにもなると考えました。大学院で学んだことを、業務や自身の生き方に還元していきたいと感じております。

### 大学院での学び

経営に関する知識やイノベーション創出について、今まで実地経験の中でリサーチと実践を繰り返したのですが、それが体系的に学べることはとても役に立っています。経験則で実施してきたことが体系知として学べることで、起業家に伴走する際に知識の引き出しが増え、事業を検討する際の視野や視座が広がりました。また、本大学院の特徴だと思いますが、「思考系科目」として哲学を学んだのは大変興味深く、自身の思考バイアスを逸脱するための事象の見方や、他人とのコミュニケーションの捉え直しは、事業構築に大切なファクターを学べたと感じました。



©沼井大志

木工作家/地域コーディネーター（フリーランス）  
小林 信彦 さん

自分が取り組みたい社会課題・所属等のキーワード

地域起業・ものづくり・森づくり・探求教育・地方創生

### バックグラウンド

大手バイメーカーの設計業務に従事する会社員時代を経て、長野県木曽郡の上松町に移住し、まちづくりの仕事に携わる中で、地方の地域課題や自分自身の生き方について考えるようになりました。地域の課題はとても多くの関係者や課題が複雑に絡み合っており、会社員時代の経験のほかに、これらの課題を解決するためのヒントを学びたいと考えていました。長野県立大学ソーシャル・イノベーション創出センター（CSI）の主催するソーシャル・イノベーション塾への参加・そこで得た学びも、大学院入学のきっかけの一つです。

### 大学院での学び

ソーシャル・イノベーション研究科での学びで最も影響を与えているのは、「自分の見えていない世界を感じる・気づく」というマインドセットです。これまで育ってきた環境や社会人経験の中で形作られた自身の思考のフレームが、これほど自分の行動や仕事の枠を狭めていたのだということに気づけたことは、まちづくりや地域課題の解決などを考えていく上で非常に大きな学びでした。また、そのような思考で仕事をしていく上で多様なセクターや人との関わりの中で生み出す価値が重要だということも、大学院の講義を通して学んでいます。そういった点で、様々なバックボーンを持って自身の課題に取り組んでいる方が集まるこの大学院は、とても理想的な学びの場だと感じています。



個人事業主（動画制作・販促コンサル）、法人登記準備中  
中山 望 さん

自分が取り組みたい社会課題・所属等のキーワード

地域企業・起業家・経営者・子育て中

### バックグラウンド

TV番組を作るディレクターとして経験を積み、結婚・出産後は企業や行政等の動画制作・プロモーション・コンサルティング業務を行う中で経営やマーケティングを学び直したいと考えていました。現在3人の子供を育てながら仕事を行い進学は難しいと諦めていましたが、本大学院は月2回の対面授業と平日夜のオンライン授業というスタイルのお陰で、子育て・仕事・学業と3つを同時に行うことができ充実した生活を過ごしています。

### 大学院での学び

授業内容が「今まで考えてこなかった思考」や「触れることがなかった領域」のカリキュラムが多く、先生達の授業に「頭の中を大きく揺さぶられている」状態が続いています。ソーシャル・イノベーション研究科1期生は年齢、業種、立場が多様で、いい意味で「変わった人たち」が集まっており、共に「社会課題の解決」などについて学び合う時間は「この大学院に入ってよかったな」と思える瞬間が多くあります。長野県から地域・日本社会を良くしていくための学び、出会い、自分の可能性を最大限に活かせる大学院だと感じています。



## 修了要件

- ①必修科目25単位、選択科目から15単位以上を修得し、40単位以上(かつGPA2.5以上)を修得すること。
- ②科目区分ごとには、経営基盤科目から5単位、ソーシャル・イノベーション基礎科目から4単位以上、思考科目から5単位以上、経営専門科目から5単位以上、実践科目から13単位以上を修得すること。ただし、思考科目については、「アート思考」、「システム思考」、「身体性思考」の3科目から1科目を必ず履修すること。実践科目については、「スタディーツアーⅠ」、「スタディーツアーⅡ(国内)」、「スタディーツアーⅡ(国外)」の3科目から1科目を必ず履修すること。
- ③本専攻に2年以上在学し、本専攻の定める審査(リサーチペーパーおよび発表会での発表)に合格すること。

## 学費・入試について

### 学費

入学料	授業料(年額)
282,000円	535,800円

※その他、保険料、教科書代、フィールドワークや研究上必要なインタビュー等にかかる移動等の経費が必要になります。  
※授業料の金額について、在学中に改定された場合は新授業料が適用されます。

### 2024年度入試の概要

専攻	入学定員	募集人員	A日程	B日程	C日程
ソーシャル・イノベーション専攻	10名	10名	○	○	○

(注1) A日程・B日程・C日程で定員の配分はありません。

(注2) すべての日程において推薦選抜方式(企業・自治体等派遣)、推薦選抜方式(内部進学)、一般選抜方式の3方式で選抜を行います。

推薦選抜方式(企業・自治体等派遣)(内部進学)	一般選抜
■企業や自治体、指導教員等の推薦をもって対象とします。 口頭試問・面接・出願書類に基づいて判定します。	■口頭試問・面接・出願書類の審査結果に基づいて総合的に 可否を判定します。

	A日程	B日程	C日程
出願期間	7/24(月)~8/7(月)	10/6(金)~10/23(月)	1/9(火)~1/23(火)
試験日	8/27(日)	11/12(日)	2/4(日)

※詳細は、2024年度学生募集要項でご確認ください。

## 動画メッセージ

受験を検討している方への、各教員からのメッセージを公開しています。

<https://www.u-nagano.ac.jp/si/faculty/>



Q1. 授与される学位の名称を教えてください。

A1. 経営学修士(専門職)です。

Q2. 大学を卒業していないのですが、大学院に入学することは可能でしょうか。

A2. 大学を卒業していなくても、文部科学大臣に指定された専修学校の専門課程の修了者や、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた22歳以上の方も入学可能です。詳しくは学生募集要項をご覧ください。

Q3. 授業はどこで行われますか。

A3. 平日夜間は原則としてオンライン授業です。土曜日は演習授業を中心として、対面とオンラインを併用した授業が行われます。対面授業の場合は三輪キャンパスで行われます。

Q4. 自習するスペースはありますか。

A4. 三輪キャンパス北棟に大学院生室を設置しています。

Q5. どのような学生が在学していますか?

A5. 1~2期生の属性は様々で、年齢も20代から50代まで幅広いです。下記は簡単な属性です。

1期生(2022年4月入学)

	20代	30代	40代	50代	総計
長野県内在住	2	6	3	2	13
医療職		1			1
企業経営		1	1	1	3
企業社員				1	1
起業家・新卒	2				2
公務員		2	2		4
地域おこし協力隊		1			1
起業家		1			1
長野県外在住			3		3
企業社員			2		2
個人事業			1		1
総計	2	6	6	2	16

2期生(2023年4月入学)

	20代	30代	40代	50代	総計
長野県内在住	4	5	2	1	12
企業社員	1	3		1	5
起業家・新卒	1				1
公務員	1	2			3
地域おこし協力隊	1				1
起業家			2		2
長野県外在住					0
総計	4	5	2	1	12

お子さんがいる方も多く、仕事だけでなくご家族の協力も得ながら、子育てと仕事と学業の全てに取り組んでいる学生も多くいます。幅広い年齢層や幅広いバックグラ

ンドの仲間が、授業や授業外も含めて議論を深めながら、協力し合うコミュニティができてきています。

Q6. 修士論文を作成する必要はありますか。

A6. ありません。ただし、事業計画を基にしたリサーチペーパーを作成し、発表することが修了要件に含まれます。

Q7. 社会人入学者として、どのような配慮があるのか、授業のスケジュールを教えてください。

A7. 社会人の方も授業を受けやすくするため、授業は平日(月~木)の夜と土曜日に実施されます。平日夜は6時限/18:50~20:30、7時限/20:40~22:20に授業があります。土曜日は2時限/10:40~に開始し、5時限~18:40に終わることがほとんどですが、学期によっては5時限がない場合もあります。なお、平日授業は原則オンライン実施となります。土曜日は隔週でオンラインと対面(三輪キャンパス)授業が交互に実施されますので、授業がある学期中は隔週で三輪キャンパスまで来ていただきます。

Q8. 出願の際に提出する「事業計画」はどのような内容・レベルを求めていますか?

A8. 本大学院は実務家育成のための専門職大学院であり、研究者を養成する大学院ではありません。そのため、2年間を通じて自分が成し得たいことを明確に持って入学していただきたいという趣旨から、入試においては研究計画ではなく、事業計画の提出を求めています。この事業計画は、対象とする問題意識、事業を通じて成し得たいことや想定している事業概要が描かれていれば良く、詳細な収支計画を求めるものではありません。

Q9. 経営やイノベーションに関する専門知識はどの程度必要ですか?

A9. 専門知識がなくても、問題ありません。ただし、授業を始めるにあたっての基礎的な土台は持っていたく必要があることから、プレ科目として、授業が始まる前に、土台となるような経営知識の講義を用意しています。

Q10. 在学中に人事異動で職場の部署が変わる可能性があります。リサーチテーマは職場の事業に縛られなくてもいいでしょうか。

A10. もちろん、問題ありません。出願時点での事業計画が、入学後に変わることは大いに有り得ることです。そのため、ご自身の今の取り組みや職場での事業にとらわれず、本当にご自身が成し得ていきたい事業内容について、まずは入学前に考え、入学後もそれを掘り下げ、行動していただくことが大切と考えています。